

背景

「不登校児童生徒への支援」
(平成17・18年度教員養成GP)

「熊本大学主催・ものづくりフェア事業」(平成22年～)

「ましきプロジェクト」
(令和元年～)

「熊本県南部豪雨災害被災地域への支援」(令和2年～)

これまでの継続性：
これからの持続可能性

事業②

親子参加型の実技的イベント(ものづくり、陶芸教室、スケッチ大会、体育教室等)を県内外各所で数十回行う計画

企業の協力等

発展的創造性

「現代的教育課題への実技教育による研究事業」

SDGs 4 SDGs 12 SDGs 15

質の高い教育をみんなに
誰ひとり取り残さない教育

持続可能な生産消費形態を確保する

陸の豊かさを守ろう

熊本大学独自性
SDGへの貢献

熊本大学

木育教育

音楽実技 技術科実技

美術実技 家庭科実技

体育実技 (理科実験)

事業③ 大学教育

熊本大学 学生の学び
SDGs推進に寄与する次世代教育者へ

不登校問題の研究

事業①

水俣市
益城町
人吉市

自治体 教育委員会 連携

子ども自立支援室
(適応指導教室)

熊本市
山鹿市

地域の方々

子ども達
保護者

ウェル・ビーイングへ

3つの事業の展開

①実践的・体験的活動等による不登校支援活動

②「ものづくりフェア事業」等への貢献。外部事業、企業との協働。木育教育。

③熊本大学 教育学部 実技系教科等における4年間の協働的な学びの場の充実。授業の深化。

多様なステークホルダーとの協働

多様性を受容し成長を
求めるダイバーシティ&
インクルージョン実現
社会への新たなさきがけ
となる教育実践を行う。

